

## 緑内障 隅角シールを作成しました!

風邪薬や胃の薬、不安を落ち着かせる薬など、内科や他の科で処方されるお薬の中には、眼圧を上昇させる成分が含まれていることがあります。緑内障の方の眼圧が上昇すると症状が悪化することがあるので、これらのお薬には「緑内障の方には使用注意」と書かれています。

当院で調べたところ、日本全国で処方される全てのお薬のうちの約8%に、このような注意書きが記載されています。

眼科で「緑内障」と診断され、治療を受けている方は、内科や他の科、あるいは調剤薬局で「緑内障があるので、このお薬はあなたに使えない」と言われるか、「眼科で使用しても良いか聞いてみてください」と言われることがあります。

これらのお薬を使用しても良いか否かは眼の中の「隅角(ぐうかく)」が広いか狭いかによって決まります。そこで、当院で隅角の状態を検査した方には、お薬手帳に貼るシールを用意しました。

### 「私は開放隅角です」

眼の中の「隅角(ぐうかく)」の状態が広い方は、抗コリン作用のあるお薬を使用しても眼圧が上昇したり、発作を起こす心配はありません。

隅角が狭くても、すでにレーザー治療を受けていたり、白内障手術を受けている方は眼圧上昇の危険が少なくなるので、お薬を服用しても構いません。

### 「私は閉塞隅角、狭隅角です」

眼科で「緑内障」と診断されていなくても、眼の中の「隅角(ぐうかく)」が狭い方は、これらのお薬を服用することで眼圧が上昇して緑内障になったり、緑内障の発作を起こしたりすることがまれにあります。

緑内障禁忌の薬剤は、抗コリン作用 78.7%、ステロイド薬 13.4%、その他 7.9% です。  
抗コリン作用薬の散瞳作用により、隅角の狭い方は、眼圧上昇を生じる危険があります。

私は **開放隅角** です

抗コリン作用薬の使用は、可能です。

ステロイド薬(内服・軟膏・点眼等)は眼圧が上昇する可能性がありますので、使用開始したら1ヶ月以内に眼圧測定をしましょう。

原眼科病院 

<http://haraganka.com/drop>



緑内障禁忌の薬剤は、抗コリン作用 78.7%、ステロイド薬 13.4%、その他 7.9% です。  
抗コリン作用薬の散瞳作用により、隅角の狭い方は、眼圧上昇を生じる危険があります。

私は **閉塞隅角 狭隅角** です

抗コリン作用薬の使用は、控えて下さい。

ステロイド薬(内服・軟膏・点眼等)は眼圧が上昇する可能性がありますので、使用開始したら1ヶ月以内に眼圧測定をしましょう。

原眼科病院 

<http://haraganka.com/drop>

ご自分の緑内障のタイプは、主治医にお尋ね下さい。